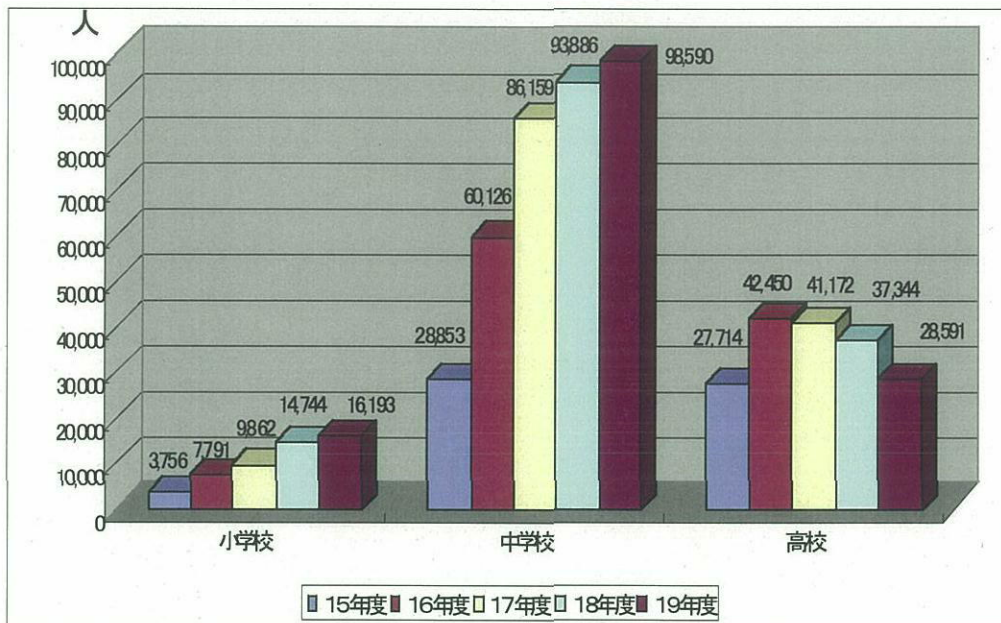


- ③ 主対象である学校の利用状況（人数）の推移は次のとおりである。小学校及び中学校の利用が開館以降、一貫して伸びており、特に中学校の伸びが著しい。また、高校については、減少の傾向が見られるが、修学旅行の多様化等の影響があると考えられる。

小学校、中学校、高校の来館内訳(人数)



- ④ 特に関西では、以下のとおり多くの中学校が利用している。

19年度に利用した学校の割合（所在校数に対する来館校数の割合）

京都府	中学校	4.2%	高校	1.1%
奈良県	中学校	6.9%	高校	2.2%
大阪府	中学校	4.4%	高校	1.4%